

座長名札すでにあり

23/10/17 公共事業評価監視委員懇談会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:30

司会：緑政土木局企画経理係長：高木
現地視察 14:45 出発予定
17:10 戻り予定

細江：緑政土木局企画経理係長
国土交通省 評価対象事業 透明性、客観性、
公開の場
ご提言を
貴重なご意見を推進に進めたい

高木：委員紹介
伊豆原、小野、岸田、鈴木、宮本
今年度から宮本参加
座長選出 開催要綱 どなたか立候補か推薦

小野：推薦 伊豆原

高木：推薦があった よろしいですね
座長席への移動を
以後の進行をお願い

伊豆原：座長
日程、運営について説明を

高木：日程 開催日 全2回
7ページ 社会資本整備総合交付金
柔軟に使用できる H22 創設
・基幹事業 16 事業
・関連事業
今年度対象1件
9ページ 国土交通省所管公共事業 再評価

再評価をする事業2件
10ページ 一覧
11-32 それぞれ事業
問い合わせ先
概要説明
第2回 事後評価 事前に確認したいことを
詳細は次回で

伊豆原：何か質問は
毎年度無し よろしいか
次のテーマ
5番目 概要説明
細かい項目は次回で
確認

13:40

緑政土木局再生 中村：説明する

再生整備係長 宮川：説明
13ページ
再生プラン策定した
・森の後輩
・施設老朽化、陳腐化で入園者の減少
平成30年-令和4年 5年計画
H28年度240万人→R4年度270万人

伊豆原：確認事項は

小野：アジアゾーン整備
同じ場所なのか？ちょっとわかりにくい

宮川：完全に同じところではない
今日見ていただければよい
バリアフリー化した
写真が対比できればよいが、写真がなかった

伊豆原：現地行ったときに資料は頂けるか

宮川：現地で写真で示した場所は説明する

伊豆原：よろしいか 他に

宮本：アジアゾーン整備 バリアフリー化だけ？
ほかにバリアフリー化が進んでいないところはどこ？
ここだけが進んでいないのか？

伊豆原：次の回に資料出せるか？
今年度はここ

宮本：これですべて終わるのか 全体像がわかれば

宮川：順次進める
すべてが対応できているわけではない
メイン園路
これまでとまだのところを次回示したい

伊豆原：次回

鈴木：2つ 用地取得 どのように使うのか 分かりように
18ページ 費用便益費 どう算出されたか 次回資料を

宮川：資料として出す

岸田：入園者数目標に対して、現状どうなっているのか
プロセスがわかるもの
コロナで入園少なくなった 工夫は

宮川：推移、どういう取り組みかはまとめる

伊豆原：実績値があればわかりやすい
ほかにあるか
この5年間 整備計画 どこにどれだけあるのか
アジアゾーンだけか
これだけだとわかりにくい

手元にある資料で
作業をして人件費をかけるのもどうか

宮川：やじるしのところが5か年

伊豆原：そうですか

岸田：動植物園 ソフト面工夫されたことは
資料は関係ない？

宮川：ソフト面は社会資本整備総合交付金は使っていない

伊豆原：難しい

宮川：ソフト面は市の単独事業でやっている
多岐にわたる

岸田：チラシがあれば

高木：5年間の動きがわかれば

岸田：参考資料 こういったところに影響したんだろう

高木：1対1にはならない

伊豆原：平成22年から
再生プラン
平成22年 こうだった
再生プラン こうになった

宮川：プランの絵がある

伊豆原：わかりやすい

宮川：だす

岸田：提案したいことも

高木：最終絵姿、ソフト施策がわかるもの

伊豆原：目標こう、現状こうなっている

宮川：わかるように

事業費はみればわかる 交付金の執行状況

伊豆原：金はみればわかる

宮川：国費

施設整備 1/2 ほかは 1/3

伊豆原：これだけ投資したと市民に分かるように

270万人がどのような数字かわかるように

抽象的な話になってしまった

手元にある資料で説明できるように

なければ次に

14:00

伊豆原：名鉄連続立体交差事業の説明を

住宅都市局：再評価後5年を経過

25ページ

3.9キロを連続高架する

国交省から国庫補助を得てやった

都市計画道路 5本の幹線道路を含む12本

踏切交通遮断量 ワースト3位、4位

安全性、利便性の向上

27ページ

⑨本事業

市内踏切 昭和に280か所→90か所に減少

本事業で12か所消える

市議会、区政協力委員から立体交差化要望

伊豆原：これ2回目？

住宅都市局：3回目

伊豆原：写真はどこ？

住宅都市局：東海橋線 桜2号踏切

鈴木：3回目の評価

25ページ 交通遮断量 最新の数値

過去2回の評価とどう変わってきたか

遮断量 長くなっていると必要性が高まっている

下がっていると必要性が薄まる

全国ワースト より高まっているかどうか

表かなにかにまとめて

住宅都市局：少しずつ減っている

R3データ

鈴木：まとめていただければ

前回、前々回 評価指標比較できれば

安全性

岸田：可能であれば

26ページ 利便性が向上します

やったところ どういう声があったのか

住宅都市局：わかった

伊豆原：3.9キロ

H18採択 15年以上

段階を踏んでいるはず

時間がかかる

それまでにほかに影響を及ぼす よくなる

最初と最後 よくなる

途中でほかに影響を及ぼすことも

遮断交通量

ほかの道路がよくなると、ここを通らなくても減る

周辺に 側道 幹線道路は変わっていないのか

住宅都市局：次回

伊豆原：道路の交通量がわかればわかる
事業費は資料を出すのか

住宅都市局：次回D/C

伊豆原：国が出す金、市の金、交通事業者の金

住宅都市局：詳細設計の後決まる
この程度ならは言える

伊豆原：この事業 連続立体 7%事業者
残り半分国 残り市

住宅都市局：そのとおり

伊豆原：整理して

住宅都市局：事業化されていない
事業の前
着工準備採択

伊豆原：平成18年度 着工準備採択
今は？

住宅都市局：事業化に向けて準備

伊豆原：着工準備なんだ
どういう評価をしたらいいのか

鈴木：前回、前々回 どこまで資料が出たのか

住宅都市局：資料があるので、事業化したい

鈴木：資料を見て

住宅都市局：費用便益マニュアル
D/Cを出す

岸田：やって効果が出たものと、今後やってよくなること

住宅都市局：費用 便益
移動、走行の経費、交通事故なくなる

伊豆原：国の事業採択に向けて資料整理？

住宅都市局：そう

伊豆原：3回整理して、数値割り出して

岸田：より効果が高くなるのか

伊豆原：事業採択の見通しは

住宅都市局：今後の流れに沿って
5年たったので諮っていただく

伊豆原：全体の企画ある？
それも付けて
ずいぶん先の話

住宅都市局：そう

伊豆原：今までにやってきたことでいいことがあったこと
皆さんに把握できれば
ほかには
次回までお願い

14:23

伊豆原：中川運河上流地区における浸水対策

中村：下水道計画課課長

横地：事業採択後5年継続 採択後

31ページ エリア 緑

名古屋駅を含む地 交通結節点

商業施設 都市機能集積

平成20年8月、平成25年9月 浸水被害

床上浸水266 床下浸水2593

事業内容 63mmに対して浸水被害をおおむね解消

100mmに対して床上浸水をおおむね解消

名古屋中央雨水調整池

広川ポンプ所

伊豆原：なにか

宮本：100mm 床上浸水解消

集中豪雨 最近多い 100mmは割と聞く

どれくらい超えるのが起きているのか

200mmにあげないといけないのか？

横地：1時間100mm 名古屋過去最大97mm

63mmを超える雨

上下水道：施設整備 1時間63mm 道路浸水

ハード整備

100mm 床上浸水解消 道路冠水は許容

宮本：名古屋市中心部

浸水すると外部から来ている人も多い

交通の便が多い

防げるようにしないと命の危険が出てくる

これくらいのレベルで十分なのか？

想定を上回るレベルで整備が必要か？

横地：過去63mmを超えた回数 10年で3回ほど

ソフト的なところ 自助 共助 公助

伊豆原：名古屋市の浸水 30年確率じゃない
10年確率 どういう整備をしているか

横地：10年確率が63mm

伊豆原：名古屋市としてはなんとかなっている？

上下水道：名古屋市総合排水計画
次回示したい

伊豆原：30年
過去10年のこと
10年確率でできているところは

横地：下水道ではない
5年とか、北海道3年

伊豆原：10年でできてもひざまでくる

宮本：全国的にみたら高い位置？

伊豆原：わかるか

宮本：その数値が納得できる

下水道：何ミリ 雨の多い地域
北海道は雨が降らない
5年でも50ミリ以下
分かる範囲で資料を示したい
10年に1回 下水整備 まだ少ない
それ以上の都市 地区限定 高い整備になっている

岸田：31ページ 図の中で、写真浸水どこ？
場所が分かるようにして

横地：次回

伊豆原：赤が整備中？

横地：そう 青ができたもの

伊豆原：青は整備したがどこへ流したのか

岸田：ポンプ所と調整池の関係は

横地：点線 雨が止んだら既設下水管に戻す
露橋水処理センターで排水
今回 名古屋中央雨水調整池
もともとの調整池とつないで、名港管理組合の了解を得て
一部排水をしながら
いままではためる やんだら排水
広川ポンプ所 連続的に排水する

伊豆原：簡単に言えばため池

鈴木：31ページ図
青は既設
赤は今回計画
わかるように
令和元年度事業採択 どのくらい進んでいるか
進捗度合いの資料 つけて

横地：次回出す

伊豆原：名古屋市全体 栄地区
100メートル道路の下に池
どれくらいあるのか
ざくっとしたもの

上下水道局：まとめたものがある 出す

伊豆原：名古屋駅は低い いつもたまる

上下水道局：名古屋市 大きな河川がない

庄内川、天白川、
市の中心部 堀川 新堀川 人工的に開削
名古屋駅低い 排水不利なのに排水先がない
河川の整備 なかなか出せない
東海豪雨と平成20年8月末豪雨
ポンプ増強 それいがいは調整池 100個近く作っている
中川運河がある 広川ポンプ場で連続的に排水できる

伊豆原：ためれる量が増える

宮本：全体がどうなっているのか
地形的に弱いのはどうしようもない
東海豪雨衝撃的 どう解消したか
10年確率で達成できた 安心材料に

伊豆原：資料添付いただけるとありがたい
ほかには
次回よろしく

14:44

高木：10分ほど押している
55分出発 1階正面玄関でお待ちしている
東山動植物園に配布資料はない
手元の資料にメモを